

MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

MCN REPORT

Vol.16 2011.9

 あいさつ	1 ページ
 トピックス	2 ページ
 大学の動き	3～6 ページ
 学生生活	7～8 ページ
 学生支援事業	9～10 ページ
 研究室訪問	11 ページ
 行事予定	12 ページ
 新任教職員紹介	13～14 ページ

トピックス

開講！認定看護師教育課程「感染管理」	2 ページ
東日本大震災への大学の取り組みについて	2 ページ

シリーズ

開学15周年に向けて	3 ページ
研究室訪問	11 ページ



三重県立看護大学
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING



大学マスコット
キャラクター
「みかんちゃん」

あいさつ

理事長〔学長〕 あいさつ

村本 淳子



地域に根ざした質の高い看護実践家の育成を！

看護系大学は増え続け、2011年4月にはついに200校となりました。そのような中で、本学は平成21年4月に法人化し、今年が3年目を迎えました。法人化した目的であります大学経営の自由化による競争力・サービス力・即戦力の強化、柔軟な大学経営により、本学の目指している地域に根ざした質の高い看護実践家の育成を明確にして、その実践にいっそう努めています。

平成23年度の入試倍率の著しい増加（国公立大学のなかでは全国で2番目でした）、文部科学省の就業力育成支援事業によるキャリアデザイン教育の開

始、そして今年の7月からは三重県下で始めて認定看護師教育課程「感染管理」の教育が開始できましたことは、本学が努力してきた具体的な成果と考えます。

認定看護師教育課程の開設は、大学院ですで行っている専門看護師教育と同様、質の高い看護実践家（看護のエキスパート）の育成を目指したものです。本学が看護基礎教育の充実をはかるとともに、専門看護師教育、認定看護師教育により、基礎教育から卒後教育生涯教育まで一貫した質の高い看護実践家の育成を目指した教育課程ができたことは、本当に喜ばしいことです。三重県における看護の総合大学としてこれからもますます優秀な卒業生、修了生を輩出していきたいと考えています。

ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

後援会会長あいさつ

市川 稔



後援会長の市川稔と申します。この一年間、役員一同と共に一生懸命取り組みたいと考えております。

本学後援会の事業目的は、大変分かり易く出来ていて、すなわち「本学学生が、学業や学生生活を、より、やり易くする環境を創る」ことを目標に事業展開すれば、本学後援会規約に定め

る所期の目的が達成されることとなります。

このため、従来からのクラブ・サークル活動等様々な学生活動への支援事業はもとより、本年度、試行的ではありますが、遅い時間帯に帰宅する学生への対応のための帰宅バス運行事業や、学生が実習地に赴く際の交通費補助事業を新設しております。

本学に関係されます皆様方には、本学後援会が実施いたしております各種事業に対し、格別のご理解、ご協力をいただきますよう宜しくお願い申し上げ、簡単ではありますがご挨拶といたします。

後援会 役員名簿

会 長	市川 稔	理 事	西村 由苗	新任役員
副会長	西山 和仁	監 事	中井 まゆみ	
副会長	横田 尚美	監 事	出口 美代子	
理 事	行元 強	顧 問	村本 淳子	学長
理 事	伊藤 純子	顧 問	橋爪 彰男	事務局長
理 事	黒川 淑子	事務局長	加藤 和浩	事務局副局長
理 事	杉谷 吉彦	事務局	正後 敦史	
理 事	小堂 幸恵	事務局	梶 智恵	
理 事	北川 智子			新任役員

トピックス

認定看護師教育課程「感染管理」が、ついにスタート



2011年7月1日、ついに地域交流センターで認定看護師教育課程「感染管理」を開講することができました。入試という難関を乗り越えて、30名の研修生が、三重県をはじめ全国から集まってきました。栄えある第1期生の中に、当大学の卒業生もいます。古くからいる？教職員は、その成長ぶりを見て、研修生以上に喜んでおられたようです。

当教育課程の特徴は、実習で2施設を担当することです。研修生の所属する施設は、急性期から慢性期、大病院から中小病院と様々なので、その施設の特色に合った施設から違う施設まで学べるように、実習は2施設を担当するようにしています。また、認定更新の審査に必要な自己研鑽ポイントを取りやすくするために、研究支援も行っています。よって、研修生は、修了証書だけでなく、研究計画書も自施設に持ち帰ることができます。翌年には、学会で演題発表している姿が、眼に浮かびます。



平成24年度の当教育課程の研修生募集は、次年度4月から行う予定です。その研修生募集について、第2回感染管理看護研究会（平成23年11月19日、三重県立看護大学）で説明しますので、奮ってご参加いただきたいと思います。また、認定看護師教育課程には興味が無くても、感染に関する看護研究に少しでも興味があれば、気軽に参加して頂きたいと思っています。

東日本大震災への大学の取り組み

- ・東日本大震災に伴う平成23年度科目等履修生募集…科目等履修生を募集しました。
- ・被災された方への入学科・授業料の減免又は納付期限の猶予…震災で、入学科又は授業料の納付が困難になった在学学生・入学予定者の方については、入学科・授業料の減免又は納付期限の猶予をする措置を取りました。
- ・募金活動…教職員と学生が協力して募金活動を行いました。
- ・学生ボランティアの派遣…「いわてGINGA - NETプロジェクト」と連携して、本学学生を被災地に派遣してボランティア活動を行います。8月24日から8月30日まで、20名の参加を予定しています（8月5日現在）。活動地域は、岩手県の大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、住田町などで、仮設住宅でのサロン活動、子供向けの学習支援、遊び支援、お祭り等地域行事の開催支援などが活動内容となります。





大学の動き

15周年記念事業について

本学は平成24年5月に開学15周年を迎えます。15周年を記念する事業の準備の年となる今年、記念式典、講演会などさまざまな行事に向けた取り組みが始まっています。なかでも「三重の看護史」編纂・発行とミニ看護博物館開設準備のプロジェクトは、昨年4月から始動し2年目を迎えています。

「三重の看護史」編纂・発行では、全体の構成などの具体的な章立てがほぼ固まり、それぞれの担当者がこれから執筆に入ることになります。執筆に当たっては、新聞記事など関連資料の収集と並行して、三重の看護を築き上げてこられた諸先輩方から、直接お話を伺うことも継続的に行っています。ご協力くださった皆様にお礼申し上げますとともに、お伺いした内容の生き生きとした雰囲気

を「三重の看護史」の中でどのように伝えていくことができるか、検討を重ねているところです。一方、ミニ看護博物館開設準備では、設置場所が附属図書館の一室に正式に決定し、これから改修工事に取り掛かるようとしています。また、引き続き県内各所から看護職者の活躍

を物語る品物が寄せられており、ご提供くださった皆様に重ねてお礼申し上げます。

限られた時間の中、それぞれの完成に向け大学を挙げて取り組んでいます。今後とも、看護職の方をはじめ、県民の皆様からの多大なるご支援をお願いいたします。



晴れやかに入学



平成23年度入試結果

試験区分		募集人員	志願倍率(*)
特別入試	一般推薦	35人	2.0
	地域推薦		3.0
	帰国子女	若干名	-
	社会人		11.0
一般入試	一般入試前期	40人	10.9
	一般入試後期	25人	22.5

*募集人員/志願者数

平成23年4月5日に、平成23年度の看護学部および大学院看護学研究科の入学式を行いました。開式に先立ち、東日本大震災で亡くなられた方々に対し黙祷を捧げました。平成23年度の看護学部入学試験はこれまで以上の高い倍率となり、その関門をくぐり抜けて104名が新入生となりました。大学院看護学研究科は7名の学生が入学しました。学部生として、また大学院生として、充実した学生生活を送られることを願っています。



入試結果について

平成23年度入試センター試験利用の志願倍率は、前期日程10.9倍、後期日程22.5倍となり、この内前期日程は公立大学で2番目に高い倍率となりました。また、来年度の国公立大2次試験の予想偏差値は52.5となり、昨年度の45.0よりも一気に7.5ポイント上昇しました(2012河合塾予想偏差値ランキング国公立大学編)。

平成24年度入試でも、23年度入試と同様に優秀な学生を迎え入れられるよう、大学を挙げて取り組んでいます。



華やかに卒業

平成23年3月18日に平成22年度の本学看護学部の卒業式と大学院看護学研究科の修了式を行いました。開式に先立ち、東日本大震災で尊い命を亡くされた方々のご冥福を祈り、黙祷を捧げました。看護学部では101名、大学院では6名が社会へ羽ばたいていきました。昨年度から始めた4年間の学業成績が最も優秀であった最優秀生には、寺西裕美子さんが表彰されました。



大学評価(認証評価)結果

本学は財団法人大学基準協会による大学評価(認証評価)を受審し、同協会の大学基準に適合しているとの評価を受けました。認定期間は、平成23年4月1日から平成30年3月31日までの7年間となります。

本学では今回の評価結果をふまえて、今後より一層、質の高い教育・研究の実践に努めてまいります。

なお、大学評価の結果や自己点検評価の内容については本学ホームページをご覧ください。

教育情報の公表

平成23年4月から、学校教育法施行規則第172条の2の規定により教育情報の公表が義務化されました。本学ホームページに、公表すべき教育研究活動等の状況(9項目)を掲載しました。

アカデミックオープンキャンパス

本学を志望される高校生、高等学校の先生および保護者の皆様方が入試準備に取り組んでいただけますことを目的に、3月20日に開催しました。今年は23年度の入試問題の模範解答と解説を、午前の部(特別入試問題)と午後の部(一般入試問題)の二部構成で行いました。いずれも大手予備校のベテラン講師によるもので、高校生の皆様からは「わかりやすかった」「今からの勉強に役に立つ」などの意見が多数寄せられました。連休の中日にも関わらず、県外からも多くの方々にご参加いただき、高校生170名、保護者・教員の皆様42名で、合計212名の方々にアカデミックな雰囲気味わっていただきました。





大学の動き

新しくなった附属図書館のサービス



▲入館ゲート

本学附属図書館は、平成22年4月より国公立大学としては初めて(株)紀伊國屋書店に全面委託を行い、学術雑誌の電子化や図書館内の整備を行い、利用者への利便性を高めてまいりました。

学術雑誌は、外国雑誌55誌のうち49誌を電子ジャーナル化し、国内の学術論文がインターネット上で読めるメディカルオンラインやCiNii (サイニイ:論文情報ナビゲータ)を導入いたしました。その

結果、文献の検索や入手が迅速かつ容易になり、本学教職員、学生はもとより、学外の利用者の方々からも高い評価を頂いております。さらに、電子書籍についても積極的に導入を行い、ご利用いただけるように準備いたしました。

附属図書館入口からの通路は、新たに一般雑誌と新聞の閲覧コーナーを移動させるとともに、ソファを配置し、ラウンジとして活用していただくように整備いたしました。また附属図書館のセキュリティ強化のため、入館ゲートを設置するとともに図書管理システムと連動させ、より正確な利用者統計が取得できるように改良いたしました。さらにAVコーナーを1階に移動させるとともに、学習と相談に使えるラウンジも増設し、学習環境を整えました。



▲AVコーナー



▲学習と相談に使えるラウンジ

本学附属図書館は、看護学に特化した図書館として本学関係者をはじめ一般の方々にも広く利用していただけるように努力していく所存です。今後ともご支援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

生協からのお知らせ

病気や事故・ケガをした方へ 共済の申請はお済みですか？

三重県立看護大学生生活協同組合(生協)では、購買書籍店や食堂といった店舗活動以外にも学生総合共済(以下、共済)事業を行っています。

共済は営利を目的としない相互扶助の精神で運営され、ひとりひとりの掛け金はご自分の「もしも」のため、そして、全国の病気や事故・ケガで困った学生のために使われています。

本学学部生は入学時に共済に加入していただいております。1年生の4月に加入をして、それっきりという学生さんもいるかもしれませんが、平成22年7月1日から平成23年6月30日までに、病気では4名、事故・ケガでは5名、火災共済では1名の方々方が申請をされました。

今現在、病気や事故・ケガをして申請の手続きをしていない学生さんはいませんか？病気や事故・ケガをした友達がいたら、「共済の手続きした？」と声をかけてあげてください。

〈お問い合わせ〉 生協購買書籍店 059-236-5010
共済サポートダイヤル 0120-335-770



地域交流センター事業紹介

Let's go to 三看大



本事業は、幼児から中学生に本学を周知し、将来、看護職への興味や関心を触発することを狙いとしています。

その第一弾として4月23日(土)、「Let's go to 三看大

2011」を本学で開催しました。

内容は小・中学生オープンキャンパスで、赤ちゃんの抱っこ、心肺蘇生、とろみ食試食などの体験と学内ツアーです。参加者はいろんな看護体験に興味津々で、将来看護師になるという発言などもありました。次回は11月3日を予定しています。



卒業生のきずなプロジェクト

お帰りなさい、卒後1年のみなさん!

夢緑祭で賑わう

6月18日(土)の午後、今年3月に卒業した37名が本学に集いました。会場に入ると「元気だった?」「何科に配属になった?」という声が飛び交い、各自の近況報告では先輩方に助けてもらいながら頑張っている様子を楽しそうに話していました。この交流会について「身体的にも精神的にも疲れる時期だったので嬉しかった」と笑顔でそれぞれの職場に帰っていきました。



おいでよ、キッズサロンへ



本事業は、津市在住の幼児と保護者の方に、英語を楽しんでいただくことをねらいとして、昨年度から開催しています。

本年度は6・7月の毎木曜日15:30-16:30で、5～6歳の13名が参加されました。授業はアルファベットやその文字を含む単語、数の学習などで、カードや音楽のリズムに合わせて学びました。毎回の簡単な宿題プリントも、「できたよ」と得意気にみせてくれるなどの意欲がみられました。

フレンテまつり

6月3日、4日に開催されたフレンテまつりに参加しました。本学のテーマは「三看大発、あなたの健康を守るために」。「骨密度」「体脂肪」「血圧」の測定や「アルコールパッチテスト」を行い、250名を超える方々にお越しいただきました。



同窓会便り

本学同窓会は三重県立看護短期大学同窓会と統合しました



本学同窓会と看護短期大学同窓会との統合に関しましては、同窓会設立当初より調整が進められてきましたが、今年3月の定期総会におきまして統合案が可決され、同日開催の合同総会におきまして正式に統合されました。大先輩を向かえ、同窓会のネットワークは大きく広がりました。

同窓生の皆さんがこのネットワークを活用して、自分自身の成長、母校や社会への貢献に繋げていって頂ければ幸いです。



学生生活

夢緑祭 第14回夢緑祭を開催！

6月18日



夢緑祭は、学生自治会が主体となって企画運営し、来学者に「三重県立看護大学」や「看護」について、楽しみながら知っていただく場として、看護大学からのメッセージを発信するべく開催しました。

今年は義援金チャリティーバザーを開くなど、売り上げを東日本大震災の被災地に寄付する企画が多くありました。よさこい、太鼓演奏、バンド演奏、健康診断、抽選会など様々なイベントが催され、子供からお年寄りまで沢山の来場者で賑わいました。

夢緑祭を終えて

夢緑祭実行委員長 2年 坪井 博

実行委員長を務めあげ、月並みではありますが組織を動かすことの難しさやトップとしての責任の重さを痛感しました。しかし、それらを感じることは社会に出てからは難しく、そういった意味でも貴重な経験を得られたと思います。

今回協力してくださった関係者の皆様、誠にありがとうございました。当日来てくださった地域住民の皆様方にも感謝の気持ちでいっぱいです。

ゆびた祭り 毎年恒例！夕涼み七夕イベント

7月6日

ゆびた祭りは、学生サークルが企画・運営するイベントです。魅力ある大学作り、充実した大学生活の実現のためには、人と人との関わりが最も大切と考え、大学生活においてより多くの人と関わりを持てる場をつくりたいと学生たちが自ら考え、開催しました。

浴衣を着た学生たちが夕涼みの雰囲気を作りながら、軽食や楽しいゲームを用意して地域の方々をお迎えし、今年も小さなお子様から大人まで沢山の来場者で賑わいました。



三看大キャンパススナック



こうき 4年 たいちゃん 4年



すっぴー 1年



みきろー 3年 げんちゃん 3年



やまでい 4年 せこちゃん 4年



ゆうと 3年 ひろし 2年



大西先生 もりちゃん 2年 しーたそ 2年



7

MCN REPORT

国際交流活動



本学は、開学以来、国際的視野を持って活動できる能力の育成を教育目標に掲げ、国際交流を積極的に推進しております。代表的なものとしては、2001年に締結されたタイ国マヒドン大学との間の交流協定に基づくもので、毎年3名のマヒドン大学生を受け入れるとともに、数名の本学学生をマヒドン大学での実習に送り出しております。その国際交流活動は、2011年5-6月号のリクルートカレッジマネジメントにおける協定に基づく学生送出ランキング【公立大学】では全国9位に位置するなど、本学の国際交流活動が高く評価されたところ

です。2011年度も、4月18日から4月30日までの2週間、3名のマヒドン大学生が本学で研修を行い、来年の3月には約2週間の予定で6名程度の本学学生をマヒドン大学での研修に送り出す予定であります。さらに、昨年度は、米国カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校での本学学生の実習を実施しました。今後も、積極的に国際交流を推進して参りますので、関係の皆様には、引き続き本学の国際交流に御支援賜りますよう、どうぞよろしく願い申し上げます。



「Campus CUBE」放送中

レディオキューブFM三重78.9MHz
毎週金曜日20:30~20:55



▲収録の様子



▲夢緑祭でのインタビューの様子

4月から新人3名が加わり、本学は“きし”“津Boy”“オックくん”“亀盾(かめじゅん)”の4人のメンバーでお送りしています。

今春よりFM放送がパソコンや一部携帯電話でもお聴きいただけるようになりましたので、ぜひ耳を傾けてみてください。

学生ISO委員会活動

学生ISO委員会 2年 井上真智子

当委員会では、世界の子どものワクチンを届ける「ワクチン支援活動」に協力するためのペットボトルキャップ回収、リユースの一環として持ち主不明の傘の回収・再利用を行っています。今後も教員・学生が一体となったエコ活動を実施していきたいと思ひます。



会議の様子▶

学生支援事業

休退学・早期離職防止のキャリア形成モデル（文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」）

現代社会は複雑で職業も多様であるため、就業時に困難を感じる学生は少なくありません。目標が比較的明確である看護職を志す学生も例外ではないのです。

このような社会情勢の中、本学は全国の看護系大学に向けての先進的モデル事業として「休退学・早期離職防止のキャリア形成モデル」に取り組んでおります。この事業は、本学学生を対象とした「看護職キャリアセミナー」と、高校生を対象とした「看護職キャリアデザイン講座」より構成されております。

本学学生に対しては、教育体制を整備することになり、具体的には平成24年度実施の新カリキュラムから新たに科目を実施し、4年間にわたり看護師となる就業力を養成する計画です。



◀本学学生対象キャリアセミナーの様子



▲相可高校
▶久居高校

看護職キャリアデザイン講座ステップ1の様子

高校生に対しては、講座のステップ1で、本学教員が県内18の高等学校に出向き看護職の仕事についてお話ししました（参加者291名）。つづいてステップ2（参加者41名）では、本学オープンキャンパスで看護体験の後、8月11、12日には、現職看護職の方にお話を聞き、図書館で自身の関心に応じて看護について理解を深めた上で、20年後の自分を想像して「未来予想図」をつくり、発表し合いました。看護職について理解を深め、自身のキャリア形成への関心を高めて頂けたと思います。

また、この就業力育成支援事業の実施に伴い、本学講義室2、講義室3を多目的講義室として改修しました。演習用の移動可能な机・椅子等を設置し、100名の学生のグループワークと、グループ間での意見交換ができるようになりました。

国家試験対策 引き続き合格率100%を目指す

第97回保健師・第94回助産師・第100回看護師国家試験の合格発表が3月25日に行われました。今年は助産師と看護師が100%の合格率で、全員胸を張って卒業していきました。学生の国家試験対策委員が昨年より4名増加して9名の強化体制となり、先輩に続けと引き続き100%合格を目指して奮闘中です。今年の国家試験出題傾向の分析結果をふまえながら、教員・学生とも一致団結して目標達成に向けて邁進していきたいと思っております。

【今年度予定】

- ・保健師・看護師・助産師国家試験対策模試各3回実施
- ・低学年対象専門基礎科目実力確認テスト実施（3年生対象）
- ・補講と特別講義を開催

国家試験合格状況

平成23年2月に11期生101名が受験した国家試験の合格発表がありました。

	<看護師>	<保健師>	<助産師>
受験者数	101名	101名	12名
合格率（22年度）	100%	95.0%	100%
全国大学平均（新卒）	98.3%	89.8%	97.9%



ようこそ先輩・就職説明会



▲ようこそ先輩 シンポジウム

も交えてお話を聞くことができ、とても参考になりました。後半は、「就職説明会」の一角に先輩ブースを作り相

平成23年度の「ようこそ先輩」と「就職説明会」は、6月15日(水)に二部構成で開催しました。「ようこそ先輩」は、本学の先輩と在学生との国家試験や就職の準備をするための対話の場です。今年お招きした先輩は、看護師2名と助産師1名、保健師1名、大学院生1名の皆さんでした。前半はシンポジウム形式で体験談をうかがったあと、活発な質問に本音



▲就職説明会

談ができるような方法で行いました。「就職説明会」は、三重県内の病院看護部の皆さんによるブース形式の説明会です。今年は32病院が参加し、パンフレット、DVD視聴などさまざまな媒体を工夫してPRをされていました。病院のスタッフとして本学の卒業生が説明者に加わり、在学生に一生懸命病院説明をしている姿が大変頼もしく映りました。3・4年生90名の参加があり、真剣な態度で各病院の話

を聞いて回っていました。



▲先輩ブース

就職状況

平成22年度卒業生101名の就職状況です。

就職状況

看護師 83名
保健師 4名
助産師 11名
進学 2名
その他 1名

就職率 100%
(就職希望者98名のうち)

主な県内就職先

- 三重県立総合医療センター
- 三重県厚生連松阪中央総合病院
- 山田赤十字病院
- 社会福祉法人恩賜財団済生会松阪総合病院
- 三重大学医学部附属病院
- 国立病院機構三重病院
- 三重県厚生連鈴鹿中央総合病院

主な県外就職先

- 名古屋第一赤十字病院
- 名古屋市立大学病院
- 名古屋大学医学部附属病院
- 藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院

研究室訪問

● ● ● 心理学と「こころ」の専門家 ● ● ●

心理学は目に見えない「こころ」を対象とする学問とされています。私自身、「ご専門は？」と問われれば、「心理学です」と答えることに躊躇はないのですが、「それでは、人の心がわかる専門家ですね」と重ねて言われると、「いやいや、とんでもない」と否定せずにはられません。あくまでも個人的な見解ですが、「心理学の専門家は、心がわかる」というのは、世間の大きな誤解ではないでしょうか。むしろ、誰よりも「こころ」に関心があるのは事実ですが、誰よりもわからないと自覚しているからこそ、「こころ」を対象に研究を続けていられると考えた方が良いでしょう。

振り返ってみると、心理学に携わって30年近くが経ちます。これまで「脳損傷によって障害される機能」あるいは「脳損傷によっても保たれる機能」など、高次脳機能と呼ばれる側面を明らかにすることを研究テーマにしてきました。確かに、高次脳機能は「こころ」の基盤となる働きと言えますが、自分の中では高次脳機能の解明と「こころ」の理解には、まだ少し距離があるように思えて、今でも研究を続けているところです。

それでは、「こころ」の専門家とは誰か？ということになりますが、看護教育に携わる中で、患者のニーズを把握して的確なケアを実践する看護職者は、「こころ」の専門家候補の一人に挙がるのではないかと密かに思っています。看護に関わりを持ちながら、私自身少しでも「こころ」の理解が深まればと思います。



心理学 教授
小池 敦

長崎純心大学講師、静岡てんかん・神経医療センター心理療法士などを経て、現職。
(上智大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程満期退学、博士(心理学))

● ● ● 「自分らしく生活するために」 ● ● ●



精神看護学 助手
松田 陽子

精神科慢性期病棟看護師としての臨床経験を経て、現職。(三重県立看護大学看護学部 看護学士)

障がいを持ちながら生活することの大変さ、それを支える家族の苦勞を考え、看護師として私は、病気と付き合いながらも健康な人のように生活できる援助をしたいと考えていました。私が働き始める頃、厚生労働省より精神障がい者の地域生活への移行が推進されました。病院から地域へ、生活の場を広げていくこととなった精神障がい者の方を看護したいと思い、精神科看護に進む道を決めました。臨床の頃は、患者様の思いを大切に日々看護を行いました。また、家族の方とのコミュニケーションを大切にし、20年ぶりに患者様とご家族が再会出来たこともありました。さらに、患者様とご家族の思いを傾聴し、入院生活や地域生活において、多くの不安を抱えていることを学びました。このような経験から、障がいを持った人が自分らしく生活するための援助や、精神障がい者の家族支援に関することが主な研究テーマになっています。また実習では、学生と共に精神科看護について考え、精神科看護の大切さを感じてもらいたいと思っています。

私は、本学の卒業生で多くのことを本学で学びました。学生時代に教わった看護を基本とし、これからも初心を忘れずに自分らしく成長していきたいと考えています。



行事予定

平成23年度大学行事予定（9月以降）

9月	3日 大学院入試 10日 教育懇談会 14日 初学者のための看護研究（全7回 7/29、8/12、8/26、9/14、9/29、10/12、11/2開催） 20日 看護研究の基本ステップ（全4回 7/25、8/11、8/30、9/20開催） 21日 意見交換会～学長と県内病院等看護管理者～ 30日 公開講座「災害と看護」第1回：三重県の防災対策について 講師：鈴木英敬氏（三重県知事）
10月	3日 後期授業開始 7日 看護研究アドバンスコース 質的研究データ分析編（全2回：10/7、10/28開催） 14日 看護研究アドバンスコース 質問紙の作り方編 25日 公開講座「患者の人権」講師：若林たけ子教授 共催：花の丘病院 29日 公開講座「人間工学を社会の常識に！」講師：斉藤進氏（（一社）日本人間工学会理事長）共催：（一社）日本人間工学会・同東海支部
11月	2日・3日 みえ産学官研究交流フォーラム2011 6日 特別入試（地域推薦） 11日 公開講座「みんなで楽しく減塩しよう!!」講師：前田貴彦講師 共催：三重県退職女性教職員の会伊賀ブロック 12日 みえアカデミックセミナー2011移動講座いなべ市「女性のメンタルヘルスを考える」講師：水野正延教授 13日 公開講座「災害と看護」第2回：災害時の感染管理（仮題）講師：矢野邦夫氏（浜松医療センター副院長・感染症科科长）、他 23日 特別入試（一般推薦・帰国子女・社会人） 26日 公開講座「眠りと健康（仮題）」講師：二村良子准教授 共催：三重県立志摩病院・志摩医師会
12月	2日 公開講座「アウトドア救急法」講師：玉田章教授 共催：熊野市学校保健会 6日 公開講座「災害と看護」第3回：被災者への支援（仮題）講師：清水将之氏（本学理事・三重県健康福祉部特別顧問）、他
1月	14日・15日 大学入試センター試験 18日 修士論文発表会 27日 後期授業終了 27日 看護研究アドバンスコース 質的研究論文クリティーク編（全2回：1/27、3/3開催）
2月	4日 看護研究アドバンスコース 統計処理編（全2回：2/4、2/11開催） 25日 前期一般入試 認定看護師教育課程「感染管理」修了式
3月	12日 後期一般入試 18日 アカデミックオープンキャンパス 19日 卒業式



* 地域交流センター関連の事業は、地域交流センター提案事業のみを掲載しています。
* この行事予定は8月5日現在のものです。今後追加される行事があります。
* 行事の詳細については、大学HPでお確かめください。

…大学からのお知らせ…

- ・モバイルホームページ…携帯用本学公式ホームページがリニューアルしました。わかりやすく見やすいサイト運営に努めてまいります。
- ・大学プロモーションビデオ…大学PR用プロモーションビデオを新しく作成いたしました。広く進学説明会や大学紹介の場で学生募集に活用してまいります。
- ・大学メールマガジン「みかんだい通信」…入試、進学相談会、大学イベントなどの情報を伝えることを目的に、大学メールマガジン「みかんだい通信」を受験生対象に配信しています。
- ・商標登録…「学章」（登録第5423327号）および「みかんちゃん」（登録第5423326号）を商標登録しました。



▲看板の様子

- ・駐車場増設…利便性向上を図るため、平成23年3月に33台分の駐車場を増設しました。
- ・看板設置…広く県民の皆様へ大学を知っていただくため、構内に看板を設置いたしました。



モバイルHPトップ

新任教職員紹介

新任教員



井上 直子

大越 扶貴

平田 育世

岩田 朋美

北澤 強志



地域在宅看護学

おおし ふき
大越 扶貴

宮城県石巻市で生まれ、仙台で青春時代を過ごしました。その後臨床看護師を経て、東京都豊島区で「お局様？」と男性職員に恐れられるまで保健師をし、大学教員となっています。ひそかにちよろQ集めています！！

実践基盤看護学

いのうえ なおこ
井上 直子

看護学部を卒業し、看護師として内科系病棟などで勤務していました。その後、本学の修士課程で看護管理学を学びました。大学での仕事は初めてです。学生さんたちとともに学んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

成人看護学

ひらた いくよ
平田 育世

今年度4月より看護教員として勤務することになりました。今年3月まで看護師として勤務していましたので、大学での授業風景や学祭などの行事も新鮮に感じています。新たな気持ちで頑張りますので宜しくお願い致します。

母性看護学

いわた ともみ
岩田 朋美

今年度より、母性看護学の助手に就任いたしました。これまでは、助産師として勤務し、妊産褥婦・新生児、成人・老年期の女性の看護に携わっておりました。研究、教育に携わることには初めてで戸惑うこともありますが、試行錯誤を重ねながら大学に貢献できるよう頑張りたいと思ひます。

実践基盤看護学

きたざわ つよし
北澤 強志

7月1日より基礎看護学講座の助手に就任いたしました北澤です。私は、第9期生として本校を卒業し、臨床で経験を積ませていただきました。教育者として働くことは初めてで右も左もわかりませんが、人一倍の元気で明るさで頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

副理事長・事務局長

はしづめ あきお
橋爪 彰男

平成23年4月に本学に赴任しました橋爪です。どうぞよろしくお願ひします。学生がみんな明るいことと環境が非常に良いことが、初めての大学勤務の緊張感を和らげていただいています。本学は、質の高い看護職者の育成を使命としていますが、平成22年度の看護師国家試験は、受験者全員が合格することができました。また、学生には、外国の大学との交流など国際的な視野を広げる機会も用意されていますので、楽しく学べることが本学の大きな魅力となっています。事務局としては、様々な方の協力をいただきながら、明るい職場づくりに努めていきたいと思ひています。



山下 敦志

橋爪 彰男

福井 崇司

総務課

総務課

ふくい たかし
福井 崇司

4月に着任し、教職員の任用、給与などを担当しています。初めての教育現場ですが、その一員としてやりがいを感じています。本学の発展に貢献できるよう頑張ります。

総務課

やました あつし
山下 敦志

県の松阪農林商工環境事務所からまいりました山下です。本学では主に契約関係の業務を担当しています。新しいことばかりですが、頑張っていきたいと思ひます。どうかよろしくお願ひします。

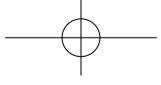
退職の教員

前山 優子 (旧姓 中山 優子)	助教	平成22年 8月
森 京子	助教	平成22年10月
伊藤 孝治	教授	平成23年 3月
河合 富美子	助教	平成23年 3月
平良 美栄子	助教	平成23年 3月

平成23年3月に退職・転出の職員

渡邊 重和	松本 悟
吉川 俊彦	西田 恭子
佐田 実	渡辺 栄子
伊藤 生馬	





教務学生課

事務局副局長兼教務学生課長

加藤 和浩

本年4月に、事務局副局長兼教務学生課長として着任いたしました。

15年前に県庁で看護大学設立に関わる業務を担当しており、立派になった本学に勤務できる幸せを感じながら、県立看護大学の一層の発展に向けて事務局運営に取り組んでいます。

教務学生課

正後 敦史

県の政策部統計室からまいりました正後（しょうご）です。前職では、県のGDPや経済成長率、県民所得などの推計を担当していました。本学では、教務学生課で主に入試業務、後援会業務を担当しています。学生のみなさんに有意義な学生生活を送っていただけるよう支援していきたいと思っています。

教務学生課

石黒 幸代

聾学校から赴任してきました。教務学生課では、証明書の発行、奨学金関係、就職・国試関係の事務を担当しています。どうぞよろしくお願いいたします。

教務学生課

北島 利哉

4月より教務学生課に赴任いたしました。学生の皆さんがより良い環境で充実した学生生活を送れるよう縁の下から支援をしていきたいと思っています。

教務学生課

中野 未姫

平成23年1月より、教務学生課勤務の中野です。大学生の就業力育成事業を担当です。どうぞよろしくお願いいたします。



企画広報課

企画広報課

長谷川 仁美

企画広報課で学生募集等を担当しています。本学の魅力をアピールできるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

企画広報課

山崎 理恵

認定看護師教育課程「感染管理」の事務を担当します。今年度から始まった新しい教育課程なので、私も教育課程と共に成長していきたいと思っています。

附属図書館

西山 雅一

毎日多くの利用者に利用していただき、本当にありがとうございます。これからも皆さんの学習や研究がよりやりやすい環境となるようにスタッフ一同で頑張っていく所存です。

附属図書館

角谷 麻美

学生の皆さんが熱心に学ぶ姿を見て感銘を受けると共に、その熱意に刺激を感じる毎日です。

微力ではございますが、精一杯学習支援を行っていききたいと思います。

附属図書館

桐山 育子

附属図書館に昨年10月からお世話になります。

当館を利用される方々は大変勉強熱心で、驚きました。

看護という専門的分野ですが、微力ながらすこしでもお役に立てるように努めていきます。たくさんの方のご来館お待ちしております。



附属図書館

角谷 麻美

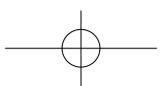
八木 真理子

附属図書館

八木 真理子

いつも一生懸命勉強されている学生の方々を見て、その熱意を強く感じております。

皆さまが、より快適に図書館を利用できるように精一杯サポートさせていただきたいと思っております。いつでも気軽にお声がけください。



アクセスマップ



交通のごあんない

公共交通機関で

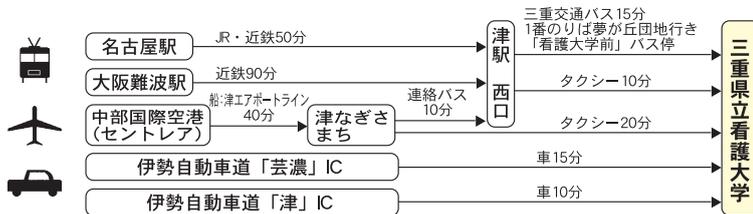
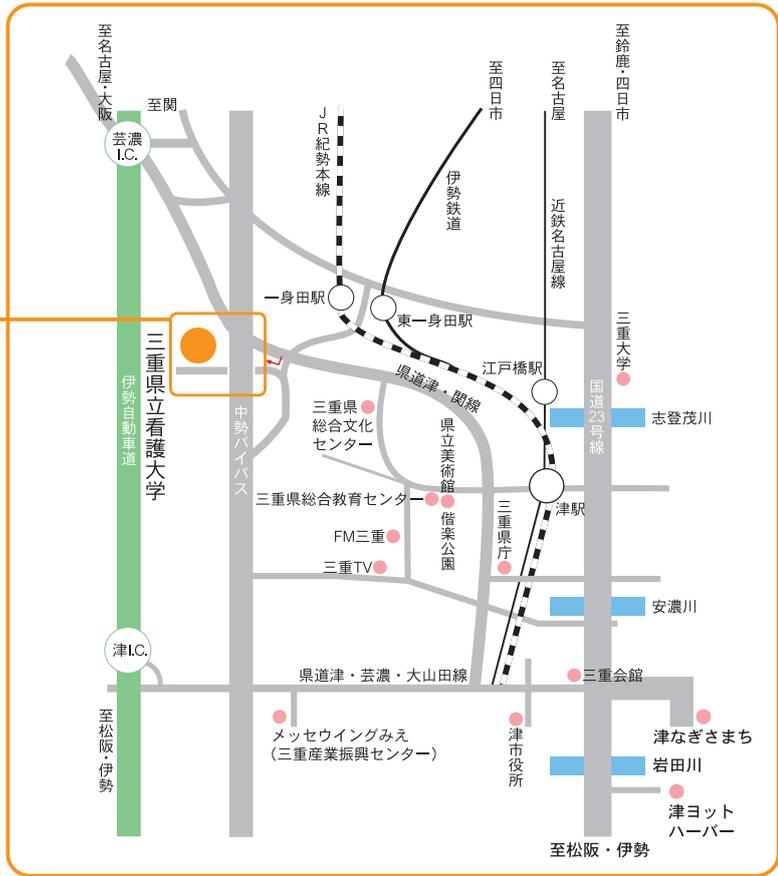
- 名古屋方面より：「名古屋駅」から「津駅」まで
JR快速みえ・近鉄特急で50分
- 大阪方面より：「難波駅」から「津駅」まで
近鉄特急で90分
- ・「津駅」西口バスのりば「1番」から三重交通バスで「夢が丘団地」行き「看護大学前」バス停下車 徒歩1分
- ・「津駅」西口よりタクシーで10分

飛行機 船で

- 「中部国際空港(セントレア)」から津エアポートラインで「津なぎさまち」へ40分
「津なぎさまち」からタクシーで「三重県立看護大学」まで20分

車で

- 伊勢自動車道「津」ICより10分
- 伊勢自動車道「芸濃」ICより15分



学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。



「大学基準協会」の定める「大学基準」に「適合」と認定されました。

認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受け認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。



三重県立看護大学は環境配慮の国際規格を認証取得しました。

看護系大学で初めてISO14001を認証取得。

地球環境と共生し調和するエコキャンパスをつくるため、ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを構築し、地球環境にやさしいキャンパスづくりを積極的に推進しています。

ISO14001とは…ISO(国際標準化機構)環境保全のための国際規格ISO14000シリーズのうち、ISO14001は企業や団体が事業活動を行う際に、環境に対する負荷を軽減する事業活動の一部として組み込み、継続的改善を行うための環境マネジメントシステムについて定めています。

編集後記

MCNレポートでは、年2回にわたり、大学の動き、取り組み、学生生活を分かりやすく皆様に伝えていきたいと思っております。この16号では、東日本大震災への取り組み、いよいよ開講した認定看護師教育課程「感染管理」について紹介しています。編集に関係していただいた皆様に感謝致します。



MCN REPORT WG



公立大学法人
三重県立看護大学

〒514-0116 三重県津市夢が丘1丁目1番地1

TEL 059-233-5600(代)

FAX 059-233-5666

http://www.mcn.ac.jp

